

Green Spirits



現S館の建て替構想は、昭和62年C館を設計する時に、故・島田和幸理事長から打ち出さ

「やっとその時が来た」と、D館の建設が行われた。

「いよいよその時が来た」という二つの思いが私の中に同居している。

それは、創立90周年記念事業として公表された、S館の建て替えを中心とした本郷キャンパスの再開発計画である。

これは、文京幼稚園隣接用地にS館の代替えの東本館を建設してS館の建て替えを行い、完成と同時に東本館へ現実習棟の身を移転解体するという計画だ。

これにより、本郷キャンパスから旧耐震建物が一掃され、全部新耐震基準の建物となる。高度な安全が確保でき、バリフリーが確立し、さらに、大幅な面積となるので、様々なプロジェクトや企画の可能性が広がる、まさに創立90周年に向けた学園の大プロジェクトなのである。

と書くと、単なるリニューアル工事の内容説明であり、冒頭の「やっと来た」ことよ「の思この説明にならな

創立90周年事業に臨んで 藤森 秀美 理事・常勤参与

間がかかり「やっと」今ここにたどり着いた訳である。

その用地取得には創立者・島田依史子先生の時代から交渉を重ね、最後には理事長・副理事長のどうしても取得したいという強い思いと行動が、地主の気持ちも動かして、今回の取得に至ったのである。地主からは「母親が、もしこの土地を売る時には、島田さんの教育のために売ってくれという言葉があり、それが大きく作用していた」と聞かされ、改めて依史子先生の強い思いを知り、深く感動した。

創立後間もない時からこの思いが「しょしょ」ここに形として現れるわけで、担当する我々としては必ず文京学院100年、200年の礎となることを誓い、いま仕事に取り掛かっている。